

二〇二二年二月二四日

| | |
|-----------------|------|
| 日々寧き一人暮らしや年惜しむ | はく子 |
| 能楽堂門に黄葉の吹き寄する | なつき |
| 天地のあはひに黒き山眠る | むべ |
| 参道へ起点の石碑山眠る | ぽんこ |
| フェリーはや沖となりたる寒灯 | 素秀 |
| 棟上の太梁高く冬晴るる | 素秀 |
| 園丁の枯蔓抱きて運び来し | なつき |
| 年惜しむ昔のドラマ見直して | こすもす |
| ポインセチア百七歳の誕生日 | わかば |
| オルガンの堂に響もすクリスマス | むべ |
| 裸木の抽んでて立つ北正門 | 素秀 |

毎週句会秀句・みのる選・二〇二二年二月二五日